

小学生英語等支援事業

【事業概要】

小学3年生から英語授業が始まるにあたって、1,2年生を対象にした小学校英語レッスンや英語発表会（1～6年生対象）を行うことにより、英語によるコミュニケーションを体験する場やネイティブスピーカーとの触れ合いの場を提供し、英語語学力の向上および異文化理解を促進する。

アンケート結果

- 「もっと英語を話せるようになりたいと思いますか。」（※R6年度は事業実施中のため、R5年度結果）

とてもなりたい： 77% なりたい： 17%

あまりなりたくない： 4% なりたくない： 2%

- 「英語に対する子どものチャレンジがサポートされている」と感じる、参加した児童・生徒の保護者の割合100%

R6年度実績（1月末時点）

- 小学校英語レッスン
9校29回(79単位)実施 計79クラス 延べ約2,000人
- 英語発表会：9月15日開催
参加人数65名(76名申込)



子どもの体力向上支援事業

【事業概要】
区内市立小学校の体育科授業等へ、学校が指定する種目（鉄棒やとび箱など）の運動指導員を派遣して技術指導を行うことで、子どもの体力・運動能力の向上につなげる。
また、鉄棒じゃんけんやゲーム形式追いかけ走など、普段の遊びに取り入れることができる内容も多く提供。

アンケート結果(R5年度結果)

- 児童向けアンケート結果
「指導を受けた種目のコツ（大事なポイント）がわかった」と答える児童の割合
96.2% （回答人数2,424名）
- 教員向けアンケート結果
今後の指導で活かせると感じた部分はありましたか。
十分にあった：93% 多少あった：7%

主な実施種目

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ● 水泳 | ● 跳び箱 | ● 短距離走 |
| ● ハードル走 | ● 体づくり運動 | ● タグラグビー |
| ● リズムダンス | ● マット運動 | |

R6年度実績（1月末時点）

- 運動指導員の派遣：9校 60回



音楽体感事業

【事業概要】

学校等を会場として、希望する学年に対して、プロの演奏によるクラシック音楽の鑑賞（楽器や曲紹介を含む）の場を提供することにより、音楽・芸術に興味をもち、感性豊かな人材の育成につなげる。

R6年度実績

- 8校 9回実施

主な実施曲目

- ヴァイオリン協奏曲『四季』より「春」／ヴィヴァルディ
- 漕げよマイケル／スピリチュアル（黒人霊歌）
- ソーラン節／北海道民謡

アンケート結果（R6年度結果）

- 教員向けアンケート結果 「本事業実施により、子どもの感性が育まれるようなサポートができていますか。」
大いに思う：55% 思う：41% あまり思わない4% （回答者数：46名）
- 児童・生徒向けアンケート結果 「今回の音楽鑑賞会は楽しかったですか。」
児童 とても楽しかった：76% 楽しかった：21% あまり楽しくなかった：2% まったく楽しくなかった：1% （回答者数：1,218名）
生徒 とても楽しかった：62% 楽しかった：36% あまり楽しくなかった：1% まったく楽しくなかった：1% （回答者数：267名）
- 「学校以外でクラシック音楽の生演奏を聴いたことはありましたか。」 児童 ある：42% ない：58% 生徒 ある：51% ない：49%



親力アップ講演会

【事業概要】
就学前の子どもを養育する保護者を対象に、幼児期の教育・子育てに役立つテーマで講演会を開催する。



アンケート結果（R6年度結果）

- 参加者向けアンケート結果
 - ・「今後、子育てをしていくうえでこの講演会が参考になったと思われましたか。」
思う：60% やや思う：33% やや思わない：7%

R6年度実績

- 講演会を4回開催（予定）
 - ・「親と子どもの睡眠と健康」
11月15日 ながいけ認定こども園
 - ・「どうして食べてくれないの？ 偏食の原因と楽しい食卓づくりのコツ」
1月28日 聖愛幼稚園
 - ・「家庭でできるシュタイナー幼児教育」
1月29日 鶴ヶ丘幼稚園
 - ・「親子で一緒に聴く連弾ミニコンサート」
2月26日 常盤幼稚園
- ※協力：大阪キリスト教短期大学
- YouTubeにて動画配信
 - ・「あべのんが小学生になったら」



不登校児などの相談支援事業

事業概要

- 学校になじめない等の悩みをもつ18歳未満の子どもとその保護者の相談に、専門的な資格を持った相談員が対応
- 関係機関と連携を強化しながら、効果的な支援を実施
- 来庁が難しい相談者向けに、ICTを活用しオンラインで相談できる体制を整備
- 区役所内に子どもの居場所を開設。

●相談業務の実施

月～金曜日（電話での事前連絡を勧奨）

●居場所の開設

木曜日（14時～16時）

実績

●相談業務

令和5年度：のべ178件（149人）

令和6年度(12月末現在)：のべ146件（57人）

●居場所の開設

令和5年度：のべ20人（2人）

令和6年度(12月末現在)：のべ 9人（3人）



居場所 『ぴあ・ほーむa』

児童虐待防止相談支援事業

事業概要

◆ 潜在的虐待リスクの高い家庭等の早期発見・早期対応を行うとともに、虐待リスクの高い家庭への個別支援を強化するため、社会福祉士等の資格や一定年数の実務経験を有するより高度な知識と技術を持つ職員（虐待対応専門員）を配置して、虐待リスクの軽減・解消を図る。

◆ 個別支援を強化するための虐待対応専門員の活動

- 1 保育園、幼稚園等訪問 2～4か月に1回
(全園訪問は実施。但し、必要に応じた訪問回数にする)
- 2 要支援・要保護家庭等への訪問、来所面談
- 3 学校、幼稚園、保育施設等との協議、情報共有、対応助言
- 4 他部署(保健活動、生活支援、障がい担当等)との連携、情報交換

実績

◆ 実績 (令和6年12月末現在)

1 保育園、幼稚園等訪問 230回

新規ケース洗い出し 18件 [11世帯] 【前年度実績 20件 16世帯】

2 他部署との情報交換 随時

3 訪問支援等を行なった子どもの数 241人 A

家庭訪問40回 来所面接375回 学校園等への個別支援481回

区行政サービスや関係機関へつないだ子どもの数 197人 B

B/A 目標値 80% ⇒ 81%

【前年度目標値 80%⇒83.8%】

